

献 辞

河内 満先生は2018年3月31日をもって本学をご退職されました。河内先生の長年にわたる本学ならびに商学部へのご貢献に深く感謝し、本号を先生の退職記念号としてお贈りいたします。

河内先生は1975年3月に広島修道大学大学院商学研究科修士課程を修了され、角和物産株式会社勤務を経て、1976年4月から広島県立戸手商業高等学校・大竹高等学校・広島商業高等学校の各校において教諭として指導にあられた後、1990年4月、広島修道大学商学部に商業科教育法・工業簿記担当の専任講師として赴任されました。1992年4月に助教授、1995年4月に教授に昇進され、ご退職まで一貫して本学で教育・研究・運営に当たってこられました。その間、数々の主要委員を歴任され、さらに2014年4月から2016年3月まで学生センター長を務められ、本学の発展に多大な貢献をされました。そのご尽力に、心から敬服申し上げます。

先生のご専門は「ビジネス教育」であり、「ビジネスとは、ビジネス教育とは何か」について本質論的および歴史的視野に基づいて分析を行われ、社会科学としてのビジネス教育論の構築に関する考察を続けてこられました。ご研究の成果は、ビジネス教育の研究者や担当者にとっての指針となる『ビジネス教育論の展開』として2017年に上梓されています。

また、先生は教職課程担当教員として、商業科教員免許の取得を目指す学生の教育に尽力されてきました。先生の指導を受けた数多くの卒業生が、現在、広島県をはじめとする中国地方の高校で商業科教員として

活躍されており、先生が主催されて毎年開催されている、商学部教員と教諭の皆様との情報交換会は、商学部にとって大学教育のあり方を考えるうえで得難い貴重な機会となっています。

社会的活動では、日本商業教育学会、日本簿記学会、日本会計研究学会、日本教師教育学会、労務理論学会などで研究報告をされ、それぞれの学会の運営にも携わってこられました。1999年には日本商業教育学会功労賞を受賞されています。また、全国私立大学教職課程研究連絡協議会のほか数多くの団体で委員を務めてこられ、現在も広島地方最低賃金審議会専門部会において部会長代理の重責を担われており、ご自身の専門を生かされ地域にも大いに貢献してこられました。

先生は商学部の行事には積極的に参加され、同僚教職員や学生諸君と親しく温和に懇親される姿が心に残っています。また、学部の運営や学生指導にかかわる問題について、常に深い見識に立った的確なご助言をいただけてきました。

どうぞ今後とも、ご健康に留意され、一層ご活躍されますよう教職員一同心から期待いたしておりますとともに、将来にわたりご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げて、献辞とさせていただきます。

2018年12月3日

広島修道大学商学部長 仲 村 靖